

サイエンスアゴラ2013

11月9日・10日、科学コミュニケーションの促進イベント「サイエンスアゴラ2013」が、日本科学未来館や都産技研をはじめその周辺施設(東京・お台場)で開催されました。都産技研では都産技研体験見学ツアーや、ものづくり体験教室、ソーラーで動くおもちゃづくりを開催しました。

■ものづくりの世界に触れる都産技研体験見学ツアー

「ものづくり」を支援する機器や設備を公開し、身近に触れて体験できるツアーを行いました。雷を落とす(高電圧放電)装置では、その迫力に驚いたり、無響音室で音が響かない不思議な感覚を体験したり、普段は見られない機器や設備に、大人だけではなく多くの子どもたちも楽しんでいました。



高電圧実験室



無響室



プラスチック成形加工室

■ものづくり体験教室



「ソーラーモンキーをつくらう！」

電気や太陽電池について楽しく学びながら、ソーラーで動くのひらサイズの綱渡りするモンキーを制作しました。



「カラフルなオリジナルコースターをつくらう！」

好きな絵を描いたコースターに硬化する樹脂を塗布し、カラフルなオリジナルコースターをつくりました。



「ペットボトルで掃除機をつくってみよう！」

ペットボトルを利用して、サイクロン式ミニ掃除機をつくりました。空気(気圧)のしくみを楽しんで学んでいました。

第16回産業交流展2013

10月30日～11月1日、東京ビッグサイトで開催された中小企業による国内最大級のトレードショー、「第16回産業交流展2013」に出展しました。今年は、話題の3Dプリンターをはじめ、10月に新設した「生活技術開発セクター」、地域新産業創出基盤強化事業への取り組みなどを展示したほか、都産技研の優れた技術や設備紹介などを行い、ご来場された方々に都産技研の各分野の事業をご紹介します。

■特別企画 首都圏テクノネットワークゾーン

各県の公設試験研究機関(公設試)や企業が出展し、多様な研究結果を展示しました。都産技研は、生活関連製品支援事業や高速造型機の製品事例、環境低負荷型クエン酸ニッケルめっきの開発展示などをご紹介します。



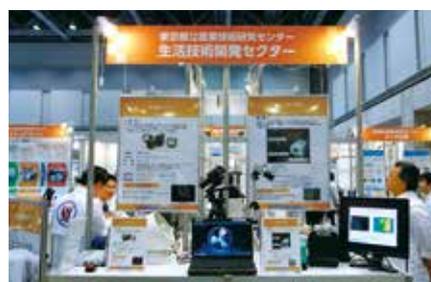
■3Dデジタルものづくり支援

いま話題の造形機(3Dプリンター)をはじめ非破壊透視試験機(産業用CT)など、都産技研の3Dに関する設備や事業をご案内しました。



■生活技術開発セクターの紹介

生活関連製品の開発支援を強化するため、平成25年10月16日、墨田支所に新たに開設した「生活技術開発セクター」の事業内容や設備などを展示しました。



■地域新産業創出基盤強化事業の紹介

平成24年10月に「広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP:エムテップ)」を開設し、関東地域(1都10県)の公設試が連携して製品の国際規格対応などを行っています。この度、経済産業省補正予算事業「地域新産業創出基盤強化事業」を活用し、新たに導入した28機種の試験機器や各県の取り組みなどを紹介しました。

